

大正東京府市名鑑

仁 杉 英 君

日本橋区教育会理事
日本橋区濱町一ノ一



信 仰 佛 教
趣 味 書 畫 及 謠 曲
愛 読 書 漢 籍

君は東都の人、嘉永六年八月を以て、日本橋区北島町に生る、舊幕府町奉行組與力たりしが維新の際鎮台府附として召出され、市政裁判所東京府に奉仕し、明治二年七月罷む、十一年六月代官人となり、二十年同副會長となり、二十七年弁護士会副會長となり、又二十年十二月以來、府會議員、同副議長、日本橋区會議員、市會議員、市參事會員を経て、三十年に至り日本橋區長に挙げられしが、三十五年五月罷む、同年八月衆議院議員に當選し、更に市會議員となるに及び議長に當選し、三十六年十二月、深川區長に任ぜられ、後、本郷、本所の両區長を経て四十五年二月麴町區長に任ぜられしが、客歲十月休職を命ぜられ、今現に日本橋區教育會及衛生協會理事並に獎兵義會幹事たり。

仁杉英

日本橋区教育会理事

日本橋区濱町1-1

信仰：仏教 趣味：書画および謡曲 愛読書：漢籍

君は東都の人、嘉永六年八月を以て、日本橋区北島町に生る。旧幕府町奉行与力たりしが維新の際鎮台府附として召出され、市政裁判所東京府に奉仕し、明治二年七月罷む。十一年六月代官人となり、二十年同副會長となり、二十七年弁護士会副會長となり、また二十年十二月以來、府會議員、同副議長、日本橋区會議員、市會議員・市參事會員を経て三十年に至り日本橋區長に挙げられしが、三十五年五月罷む。同年八月衆議院議員に當選し、更に市會議員になるに及び議長に當選し三十六年十二月、深川區長に任ぜられ、後、本郷、本所の両區長を経て四十五年二月麴町區長に任ぜられしが、客歲十月休職を命ぜられ、今現に日本橋區教育會および衛生協會理事ならびに獎兵義會幹事たり。